

2. 「大学と保護者との連絡会」への援助

地区会場費へ援助

全体総括

- 開催期間 平成26年9月6日～10月4日
- 開催地 全国20会場
- 参加者

保護者合計 学部1,663世帯(2,247名) 大学院1世帯(1名)
 全国各地区会場 学部 344世帯(491名) 大学院1世帯(1名)
 (17会場)
 東京・横浜会場 学部1,319世帯(1,755名)
 (3会場)
 教職員 41名(全国各地区への派遣者数)

4. 今年度の結果と特徴

- ①学部全体の出席者(世帯)数は1,663世帯と前年比0.94%減だが、在籍者数に対する出席率は22.9%と昨年を0.4%上回った。学年別では、1年生の保護者の方が多いものの561世帯で前年比9.5%減、2年生が445世帯で4.5%増、3年生が457世帯で6.3%増、4年生が200世帯で1.5%増であった。
- ②大学会場は、各キャンパスとも大勢の保護者の方に出席していただき、世田谷キャンパスでは、前年比3.9%増の873世帯、横浜キャンパスでは、前年比8.2%減の292世帯、等々力キャンパスでは、前年比6.2%増の154世帯の出席者となった。
- ③地区会場については、昨年と同じ17会場を設定・実施した。首都圏以外の出身の在学生が年々減少しているため、今年の出席者(世帯)数は前年より0.9%減の344世帯となった。
- ④保護者との懇談では、就職活動の時期が変わるため、Uターンを含む就職関係の話題が一番関心を持たれたようであった。次に大学院進学、成績に関することが各会場での話題となり、個別相談も多数あった。
- ⑤地区会場では、地区担当の理事・評議員の方々に会の運営等に協力をしていただいた。また、今年度も本学同窓会である東京都市大学校友会の地方支部の役員に出席願ひ、各地区における卒業生の就職状況や活躍状況を説明していただいた。
- ⑥地区会場の声として、大学の現状や成績・学生生活・就職等の報告がなされたことについて好評であった。

詳細については、後援会誌TCU-COM51号(27年1月刊行)をご覧ください。



水戸会場

大学会場 学科別出席数(世帯数)

学科	平成26年度	平成25年度	学科	平成26年度	平成25年度
機械工学科	96	100	自然科学科	31	34
機械システム工学科	101	98	環境情報学科	57	98
原子力安全工学科	37	40	情報メディア学科	62	97
医用(生体医)工学科	55	54	環境創生学科	34	27
電気電子工学科	89	65	環境マネジメント学科	54	48
エネルギー化学科	62	60	社会メディア学科	41	23
建築学科	89	115	情報システム学科	44	25
都市工学科	86	80	都市生活学科	112	105
情報科学科	90	97	児童学科	42	40
情報通信(ネットワーク)工学科	61	35	大学院	—	1
経営システム工学科	76	61	合計	1,319	1,303

3. 大学行事への協力援助

大学行事名	援助対象	金額(円)
1 体育祭(5月14日～15日)	体育会	230,000
2 横浜祭(6月7日～8日)	横浜祭実行委員会	1,400,000
3 等々力祭(11月1日～2日)	等々力祭実行委員会	1,100,000
4 世田谷祭(11月1日～2日)	世田谷祭実行委員会	800,000
合計		3,530,000

4. 学生厚生援助

「朝活応援」企画(100円朝食)の実施

400円相当の朝食に対して、後援会、校友会、大学より100円ずつ補助(300円)を行った。

前期：7月14日(月)～8月6日(水)の平日(3キャンパス共通)

後期：10月1日(水)～1月30日(金)の平日(//)

結果：前期は2,878食、後期は12,640食、合計15,518食を提供



〈4〉学生厚生援助「朝活応援」企画100円朝食

5. 会誌の発行

会誌号	金額(円)
1 TCU-COM 50号を刊行(8月中旬全会員へ送付)	1,332,720
2 TCU-COM 51号を刊行(2月上旬全会員へ送付)	2,391,120
合計	3,723,840

過去5年間の在学生クラブ加入率

